

ロボット開発者  
古田貴之



ウェアラブル伝道師  
塚本昌彦



メディアアーティスト  
岩井俊雄

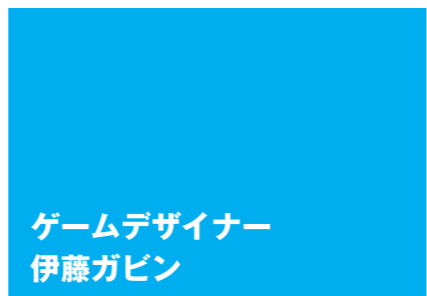


## あのことろみんな科学少年だった！

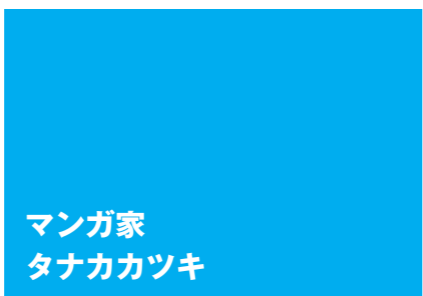
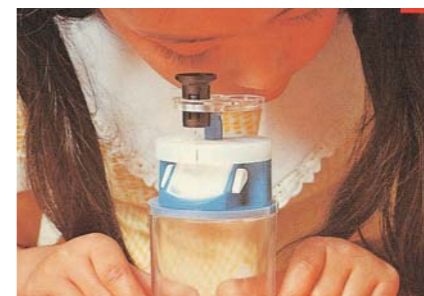
## 思い出の「科学のふろく」全員集合

文／眞形隆之 写真／座田学

小学生の頃に味わった、あのワクワクを、大人になった今再び体験したい。そんな私たちの代表として、最先端の現場で常に新しいモノを生み出す、7人の“元”科学少年を集め、昔のふろくを囲む会を開催した。



ゲームデザイナー  
伊藤ガビン



マンガ家  
タナカカツキ



お魚博士  
さかなクン



アーティスト  
土佐信道







## 大人が科学少年に戻った日

「昔のふろくを囲む会」は、都内某所の小学校で行われた。図書室に集められたそれぞれの時代のふろくを見ると、一同の目が輝く。

段ボール20箱分はあろうかという過去のふろくたちを前に、「こんなにたくさんの

ふろくがあるとは思いませんでしたよー」と言いながら、ふろくの箱を次から次へと手にしては置き、その度に「あー！」だの「すげえ！」だの、普段は出さないであろう奇声を発する。人間は懐かしさに出会うと、ピュアな気持ちになるらしい。

ふろくを見るまでは、あいまいな小学生時代の記憶に不安だった人も、ふろくの部品を見るとピンときたようで、「そうそう、これ、これ!」と、興奮する。ひとつのふろくをきっかけにして、心の奥にある忘れられた当時の情景がよみがえ

る。不思議な感覚。「もったいなくて開けられない」と、躊躇していた人も、一度ふろくの箱を開けて組み立て始めると、説明書には目もくれず、黙々と作りはじめる。作り終わると、次のふろくへ。組み立てながら、ふと、「今の

仕事もこんな感じだなあ〜」と笑う。薬品のピンを開け、臭いを嗅ぐ。大きな体に似合わない、できたての小さい望遠鏡をのぞく。誰かが顕微鏡でよく見えるぞと興奮すると、「見せて、見せて」と、みんなが集まってくる。たしか理科の実

験ってこんな感じだった。モノ作りの天才たちが集まった教室で、カメラマンが大声を上げた。「みなさん！まじめにしてください！」——お気に入りのふろくを手にした大人たちは、全員小学生に見えた。